

豪華付録つき! 創刊35周年記念号は新型フルサイズ機とスポーツ写真の超・特大号!



10 OCTOBER
2016

キヤノン 新型一眼レフは最強か!

EOS 5D Mark IV

3040万画素、秒7コマ高速連写、
61点高性能AFのハイスpek
マシンに生まれ変わった!

創刊35周年記念
スペシャル
別冊付録
情熱の赤!
フレキシブル・
レンズポーチ



創刊35周年スペシャル
1981-2016 スポーツの
感動シーンを捉えた写真家たち
フラッグシップ機が記録した
「スポーツ名シーン35年」

風景写真特集
露出で魅せる! 「紅葉写真」
風景プロ写真家7人のベストショット
「マイナス補正」で色濃く写す露出ノウハウ
ボケを彩るマクロレンズ・テクニック

リオ五輪スペシャルグラビア
Rio 2016
最強カメラが刻んだエキサイティングシーン!

小さくて軽〜い2400万画素一眼レフ
「ニコンD3400」デビュー

これぞ、EOSミラーレスの底力
トップモデルだ! 「EOS M5」

XF23ミリF2も合わせて登場
フジフィルム「X-A3」

最新レンズに注目!
タムロン新150~600ミリG2
フォクトレンダー
NOKTON58ミリF1.4SLIS
ニッコール105ミリF1.4Eを実写

報道カメラマンの現場
イチロー! メジャー3000本安打の涙

小さくするために構造から変えちゃった!
エプソン新カラリオEP-879A

溜息の出る紅葉写真をご覧あれ
錦秋の信濃路 / 水谷章人

人気フォトグラファー新作グラビア
竹沢うるま / 風の巡礼

第77回「国際写真サロン」作品募集

写真史の1ページに自らの写真を刻め!

「国際写真サロン」の歴史は1927(昭和2)年にさかのぼる。世界の写真愛好家を対象にした国際交流展として歴史を重ねてきた。戦時中、一時中断し、今回で第77回を迎える。10月31日必着。



前回の審査委員特別賞「祝福」(三重県・郡清至さん)。

二〇数年、国内に次ぐ応募数なのがインド。前回は37か国・地域から4645点、国内を含めると総計8657点が寄せられた。

主催の全日本写真連盟と朝日新聞社がもつとも力を入れている事業であり、表彰式を朝日新聞東京本社で行ない、入賞写真展を全国各地で開く。

また、全入賞作品を収めた作品集(予価2700円・税込)がまと

められ、時代の記録として残される。出版は17年4月予定。

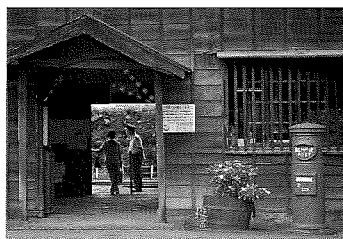
前回の総評では「国内作品は平板な写真が多く、海外ではイラン、インドに卓越した作品が目立った」と辛口のコメントがあった。自らの視点

を一度、疑ってみるのもひとつの突破口になるかもしれない。応募料は3000円(全日写連会員2000円)。学生、高校生は無料。詳細は全日写連ホームページ(<http://www.photo-asahi.com/>)へ。問合せは事務局(☎03・5540・7413、平日10

〜18時)まで。

丸ポストが演出する一瞬を切り取れ!

東京・小平市が丸いポストのある風景を募集



第8回金賞の「駅のポスト」(土屋敏彦さん、撮影地・静岡県川根本町下泉)。

東京都内でもっとも「丸ポスト」の残る町が小平市だ。

今年も第9回「丸いポストのある風景」ポストカードフォ

トコンテストの募集を行なっている。締切は10月31日。丸いポストを見かけると、ふと目が留まる。それは懐かしさと、人とながる温かさを感じるからだろう。このコンテストではそんな丸ポストのある風景を募集してきた。

丸ポストは国内だけでなく海外にもあり、形、色はそれぞれのお国柄を反映した特徴がある。キプロスやアイルランド、ポルトガル、台北など、海外を旅した人から応募があるそう。

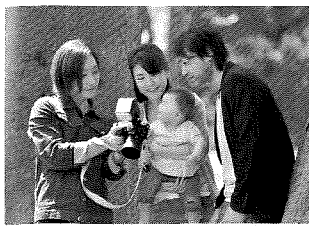
小平市では「丸いポストのまち」のシンボルとして7年前、高さ約2メートルの日本丸ポストを新設。それを加えて市内では37の丸ポストが現存する。丸ポストを巡るお散歩Mapも作成し、この魅力を伝えている。

金賞1点(賞金5万円)をはじめ12点の入賞と入選を選び、ルネこだいら1階情報ロビーで作品展も開く。会期は平成29年1月14日から3月31日。ルネこだいらホームページ(<http://www.rune-kodaira.jp/manupos/>)で過去の入賞作品が掲載されているほか、応募票もダウンロードできる。問合せは小平市文化振興財団事業課(☎042・345・5111)まで。

OurPhotoとナカバヤシが共同開発

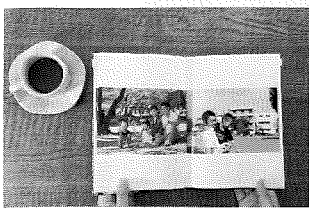
気軽にプロへ頼める撮影から高品質アルバムまで!

プロのフォトグラファーに記念写真の撮影などを依頼するのはハードルが高い。まして、スタジオなどを利用すれば料金は青天井だろう。そんなプロによる撮影を安価でブックングしてくれるインターネットのサービスが「OurPhoto」だ。



誕生日や家族の記念日はOurPhotoでプロによる撮影を!

出張撮影マッチング」と銘打ち、ニッチビジネスとして着実に業績を伸ばしているOurPhotoが、高品質の写真アルバムメーカーのナカバヤシと協業でフォトブック事業を10月から展開する。



OurPhotoオリジナルのフォトブックなら、大切な思い出を保存できる。

もともとOurPhotoは撮影データを納品していたが、顧客よりプリントを希望する声が強かったという。そこでパートナーを模索していたが、国の機関や大学の図書館で本を永年保存するための高品質な製本技術を持つナカバヤシと手を組んだ。

具体的には書店に並んでいるような品質のフォトブックを、プロのデザイナーが編集して美しくレイアウト。OurPhotoオリジナルなので、同サービスの利用者のみ購入できる。フォトブックの仕様はA4、24ページで、マットコート紙を使用。ハードカバー上製本の中ミシン綴じで税込9800円。

プロによる出張撮影サービスが広がっている。OurPhoto(<https://our-photo.co/>)の展開にも注目だ。

AOSリーガルテックのデータ復旧サービス

動画も静止画も復旧率は平均94パーセント!

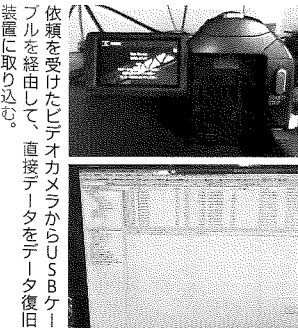
便利なデジタル機器だが、データの管理はやっぱり面倒。ちょっとした不注意でデータを消してしまうことが意外に多い。データ復旧サービスを行なうAOSリーガルテックでは、ビデオカメラやSDメモリーカードのデータ復旧依頼が前年比で約1.5倍に増えているという。

データ復旧サービスはまだ始まったばかりの業界で、価格などは各社まちまちなのが実情のようだ。同社では3万円から10万円の料金で、見積りは無料、復旧できなかった場合、作業費は徴収しないことを謳う。

「料金はデータの種類や容量に関係なく、復旧にかかる技術と手間で見積りします」と同社では話す。復旧率は94パーセント(全メディアの平均値)。万が一のとき、頼りがいのある数字ではある。

修理にかかる日数は軽度であれば2、3日、重度でも1週間程度で済む。依頼は同社に直接持ち込むか、郵送でも受け付ける。同社がデータ復旧事業を始めて17年。警察庁や行政機関への支援も数多く行なってきた。ちなみにデータ消失理由のトップ3は、①ビデオカメラ本体の記録全消去ボタンを誤って操作②撮影中の落下、水没③デ

ータ移行中の上書き削除だとか。ゆめゆめ注意を! AOSリーガルテックの所在地は東京都港区虎ノ門5-1-5メトロシティ神谷町ビル5F(☎0120・104・119、24時間・年中無休)。サイト(<http://www.aos.com>)も要チェック。



依頼を受けたビデオカメラからUSBケーブルを経由して、直接データをデータ復旧装置に取り込む。